

レファレンス協同データベース事業 令和2年度事業報告

目次

1. 活動報告	2
(1) 事務局の活動（時系列）	2
(2) 事務局の活動（その他）	2
(3) 企画協力員による活動.....	3
(4) 参加館による活動.....	4
(5) サポーターによる活動.....	7
2. 統計	9
(1) 参加館数（令和3年3月末現在）	9
(2) データ登録件数（令和3年3月末現在）	10
(3) データの被参照件数（令和3年3月末現在）	11
(4) YAU (Yearly Active User) 数の推移	12
(5) 令和2年度御礼状送付.....	12
(6) 令和2年度企画協力員賞受賞館.....	12

1. 活動報告

(1) 事務局の活動（時系列）

日程	内容
令和2年	
5月29日	テーマ別事例一覧「地震災害 関連情報」に「感染症」の項目を追加
9月7日	令和2年度図書館情報学実習生受け入れ
9月25日	れはっちのおでかけレポート 第11回を事業ホームページに掲載
10月2日	令和2年度第1回企画協力員会議
10月7日	講師派遣：令和2年度岡山市立図書館職員研修会（主催：岡山市立中央図書館）
10月30日	アーバンデータチャレンジ 2019 国立国会図書館賞受賞者インタビューを事業ホームページに掲載
11月1日～ 11月30日	第22回図書館総合展にて Web 展示を実施（動画やパンフレット等の掲載、れはっちのおでかけレポート～図書館総合展編～の公開）
11月27日	第16回レファレンス協同データベース事業担当者研修会（第1回）
12月4日	第16回レファレンス協同データベース事業担当者研修会（第2回）
12月19日	講師派遣：2020年度大阪商業大学大学院地域政策学研究科「地域政策特殊講義」（主催：大阪商業大学大学院地域政策学研究科）
令和3年	
1月5日～ 2月5日	レファレンス協同データベース事業参加館アンケートの実施
1月29日	令和2年度第2回企画協力員会議
2月23日	講師派遣：桃山学院大学司書講習「図書館サービス特論 IA3」（主催：桃山学院大学エクステンション・センター）
2月24日	れはっちのおでかけレポート 第12回を事業ホームページに掲載
2月26日	国立国会図書館長からの御礼状送付、企画協力員賞授与
3月19日	第16回レファレンス協同データベース事業フォーラム「レファ協というプラットフォーム ―コロナ時代のレファレンス・サービスを考える―」

(2) 事務局の活動（その他）

a. 参加館へのサポート

レファ協活用に関する情報、研修等イベントの案内、おすすめデータの紹介等を掲載した参加館向けメールマガジン『レファレンス協同データベース事業参加館通信』を月1回（第413号～424号）発行した。また、システム停止その他の連絡事項周知のため、必要に応じて参加館通信号外を発行した。

参加館からのレファ協に関する問合せを受け付け、随時回答を行った。新たに参加館となった機関には、初期作業として最初のデータの登録を促した。また、レファ協への参加後に初めて一般公開されたデータに対しては、事務局からのコメント付与、参加館通信や Twitter での紹介等を行った。

b. 広報活動

Twitter のレファ協公式アカウント (@crd_tweet) において、登録データやイベント情報等を発信した。令和2年度の総ツイート数は3,342件、1日当たり平均ツイート数は約14件、令和3年3月末時点のフォロワー数は45,097アカウントである。令和2年3月末から令和3年3月末にかけて、フォロワー数の伸び率は約18%となっている。

c. システム改修

以下のシステム改修を行った。

- ・詳細検索の検索条件に「地名カテゴリ」を追加
- ・登録機能に「複写登録」を追加

d. 刊行物等への掲載

- ・藤田順「図書館員の本棚 れふあれんす百題 榎盛可那子・樋渡えみ子編著」『図書館雑誌』(114):2020.12, p.706.

また、以下の記事で事業が紹介された。

- ・「質問への回答提供 安城市図書館に礼状 国会図書館から、6年連続」『中日新聞』2020.4.6.
- ・「国会図書館から5年連続で礼状 小野市立図書館」『神戸新聞』2020.4.19.
- ・「【5月13日付編集日記】図書館の知恵」『福島民友』2020.5.13
- ・「依頼の疑問答えます 国立国会図書館5年連続で礼状」『神戸新聞』2020.11.18.
- ・「電話代安く アマの商魂」『読売新聞オンライン』2021.2.14
- ・「小野市立図書館に礼状 6年連続 国会図書館から 質問データ登録事業に貢献」『神戸新聞』2021.3.23.
- ・「国会図書館から礼状 蒲郡市立図書館 質問への回答例提供」『中日新聞』2021.3.30.

(3) 企画協力員による活動

a. レファレンス協同データベース事業企画協力員

(令和3年3月末時点。敬称略、五十音順)

井上 昌彦	関西学院大学図書館運営課課長補佐
小熊 ますみ	埼玉県立久喜図書館自然科学・技術資料担当司書主幹
小田 光宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授
坂井 華奈子	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 学術情報センター図書館情報課課長代理
田子 環	神奈川県立厚木清南高等学校司書
谷本 達哉	羽衣国際大学人間生活学部准教授
西口 光夫	豊中市立庄内図書館長

b. 令和2年度の主な活動

<研修等での紹介>

- ・小田 光宏

令和2年9月11日 令和2年度図書館職員研修			
主催	石川県立図書館	参加人数	23名
内容	レファレンスサービス研修(基礎編)「レファレンスサービスって、なに? と、尋ねられたら…」において、プログラムの一部として、レファ協の概要を説明した。		
備考	参加者は石川県立図書館に集合し、講師はオンラインで講義を行う形式で実施した。		
令和2年11月30日 令和2年度図書館職員研修			
主催	石川県立図書館	参加人数	15名
内容	レファレンスサービス研修(応用編)「これからレファレンスサービスをどのように展開しますか? という問いかけには…」において、プログラムの一部として、レファ協の活用と各種データの記録に関して取り上げた。		

<授業での紹介>

- ・小田 光宏
 東京大学 教育学部「情報サービス論」

<刊行物等への掲載>

- ・小田光宏 監修『見たい! 知りたい! 図書館はうら側もすごい!』WAVE 出版, 2020.12, p.59.

(4) 参加館による活動

<研修等での紹介>

- ・伊丹市立図書館本館「ことば蔵」

令和2年4月1日、2日 レファレンスカウンター研修			
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」	参加人数	2名
内容	新任者に資料の探し方・調べ方の講座を実施し、レファ協を使って過去のレファレンス事例検索や、実際に課題を出してレファレンス実践・事例登録を行った。		
令和2年6月18日 2020年度第1回学校図書館教育担当者会			
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	32名
内容	図書館での資料の探し方・調べ方の講座レジュメを配布し、レファ協の一般公開事例を用いて調べるコツを具体例で示した。		
令和2年6月24日 2020年度第1回学校司書研修会			
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	26名
内容	調べる学習コンクールの研修講座を実施し、レファレンスを行うにあたってのコツをレファ協の一般公開事例を使って紹介した。		
令和2年8月1日、5日、8日、11日、12日 2020年度初任者研修			
主催	兵庫県教育委員会	参加人数	7名

内容	図書館での資料の探し方・調べ方の講座レジュメを配布し、レファ協の一般公開事例を用いて調べるコツを具体例で示した。		
令和2年12月2日 2020年度第5回学校司書研修会			
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	26名
内容	「新刊紹介」において、紹介本の関連書として、レファ協・調べ方マニュアル掲載のブックリスト「LGBTQ 絵本」を紹介した。		
令和3年1月13日 2020年度第6回学校司書研修会			
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	26名
内容	修理講座内で修理関係のレファ協事例を紹介した。		
令和3年2月18日 伊丹市まちづくり出前講座「子どもの本はすばらしい！～すべての子どもに読書を～」			
主催	伊丹市市民自治部まちづくり室まちづくり推進課	参加人数	16名(0-3歳児とその保護者)
内容	「子どもの年齢にあった絵本の紹介、読み聞かせ」において、紹介本は当日配布のレジュメに掲載し、紹介しきれない関連本はレファ協調べ方マニュアル掲載のブックリストを案内した。レファレンス・サービスの認知度が1割程度だったため、レファレンス・サービス及びレファ協の紹介も兼ねた。		
令和3年3月12日 2020年度第7回学校司書研修会			
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	26名
内容	伊丹市立図書館の事業を紹介する中で、レファ協と受付事例を紹介した。		

・神奈川県学校図書館員研究会

令和2年5月 学校司書等実務研修春期全体研究会			
主催	神奈川県教育局総務室	参加人数	197名(会員数)
内容	次の資料を会員に送付し、レファ協の活用を呼びかけた。 <ul style="list-style-type: none"> ・事例登録するときの管理番号内学校コード一覧(2020) ・レファレンス協同データベース 事例登録の運用ルール改訂3版(2013) ・LibraryNAVI「レファ協をさらにつかおう」 ・レファ協利用のための簡易マニュアル 		
備考	例年5月に開催している研究会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、資料をメール配信する書面開催となった。		
令和2年7月21日 令和2年度新規採用学校司書研修 第4回			
主催	神奈川県教育局総務室	参加人数	6名
内容	講義「カウンター業務」において、レファレンス業務について説明し、レファ協を紹介した。		
令和2年12月8日 令和2年度新規採用学校司書研修 第7回			
主催	神奈川県教育局総務室	参加人数	11名
内容	講義「整理業務・コンピュータによる蔵書管理」において、「レファレンスのキーワ		

	ードを蔵書管理システムに入れておくと便利」という話題とともにレファ協について説明した。
令和3年2月9日～3月9日 令和2年度神奈川県図書館協会第2回職員研修会	
主催	神奈川県図書館協会
内容	「レファレンス協同データベースの利活用」に関する事例発表において、神奈川県学校図書館員研究会のレファ協活用状況について発表した。
備考	神奈川県図書館協会ホームページ内の会員専用ページへ資料を掲載する形式の遠隔研修

・県立長野図書館

令和2年6月、7月 初任者研修			
主催	県立長野図書館	参加人数	80名
内容	初任者向けレファレンス実習において、レファレンス協同データベースに触れることを目的として、レファ協の事例検索とグループでの情報共有を行った。また、主催者側からは、レファ協の見方や回答プロセスで調べ方がわかること等を伝えた。		
備考	1回20名程度の研修を4回実施した。		
令和3年3月 県立長野図書館館内研修			
主催	県立長野図書館資料情報課情報係	参加人数	10名
内容	回答プロセスの書き方を中心に、注意点やリンクの張り方などの実務に沿った内容で館内研修を実施した。		

・国立国会図書館

令和2年7月15日 令和2年度利用者サービス部門新規配属職員研修			
主催	国立国会図書館利用者サービス部	参加人数	32名
内容	プログラムの一部で、レファ協について説明した。		
備考	対面とオンライン会議ツールを併用して実施した。		

・東京都江戸東京博物館 図書室

新規職員向け図書室利用研修			
主催	東京都江戸東京博物館 図書室	参加人数	各回5名まで
内容	博物館職員を対象とした図書室の概要及び利用方法の説明の中で、レファ協の概要や利用方法等の説明と実際の操作を行った。年度内に6回実施した。		

・福岡県立図書館

令和2年10月5日 令和2年度公共図書館等職員レファレンス研修（中級）			
主催	福岡県立図書館	参加人数	12名
内容	「レファレンス課題調査（演習）」において、知っていると便利なレファレンス・ツールの一つとしてレファ協を紹介した。		

令和2年12月18日～令和3年3月31日 令和2年度公共図書館等職員レファレンス研修 (初級)			
主催	福岡県立図書館	参加人数	311名(視聴回数)
内容	「ハイブリッド情報検索」において、文献を探す際に知っていると便利なWEBサイトの一つとしてレファ協を紹介した。		
備考	YouTubeで配信した限定公開動画を視聴するオンライン形式で実施した。		

・山口県立山口図書館

令和2年12月18日 令和2年度公立図書館職員等専門講習会(第1回)			
主催	山口県立山口図書館 山口県図書館協会	参加人数	26名
内容	「調べ方案内」を作ってみよう～よりよいレファレンスのために」において、レファ協に登録された調べ方マニュアルをみて、それぞれの良いところ、真似したいところを探す、というワークを実施した。		
備考	対面とオンラインを併用した。		
令和3年2月25日 下松市立図書館職員研修			
主催	下松市立図書館	参加人数	12名
内容	上記の令和2年度公立図書館職員等専門講習会(第1回)と同様のワークを実施した。		
備考	オンラインで完結した研修。		

<刊行物等への掲載>

- ・星子奈美, 渡邊由紀子「図書館TAとともに創るパスファインダー：九州大学附属図書館のWeb学習ガイドCute.Guidesを例に」『九州大学附属図書館研究開発室年報』(2019/2020):2020.7,p.27-36.
- ・旗手優「コロナ禍における国立国会図書館の利用者サービス：7月末までのサービスの休止・再開の状況と各種取組」『専門図書館』(301・302):2020.10, p.7-11.
- ・『東京都写真美術館ニュース別冊「ニアイズ」122号』2021.2.17. <https://topmuseum.jp/contents/extra/nya-eyes_pdf/2021_02.pdf>

(5) サポーターによる活動

サポーターは登録データへのコメント付与や当事業の広報等の活動を行っている。令和3年3月末時点で64名が登録されている。

<研修等での紹介>

- ・寺尾 隆

令和2年8月8日 中高図書館スタッフ研修			
会場	紀伊國屋書店 関西センター	参加人数	12名
令和2年8月19日 レファレンスインタビュー研修			
会場	同志社大学ラーネット記念図書館	参加人数	10名

2. 統計

(1) 参加館数（令和3年3月末現在）

今年度も参加館数は着実に増加している。事業からの脱退については、サービス縮小による専門図書館の脱退が1件あったが、他の3件については組織再編や参加単位の変更に伴う脱退である。

館種	平成30年度 まで	令和元年度 まで	令和2年度 合計	令和2年度 増	令和2年度 減
公共図書館	472	483	501	20	2
都道府県	53	53	53	0	0
政令指定都市	25	25	25	0	0
市町村	394	405	423	20	2
大学図書館	191	197	203	6	0
国立大学	49	49	50	1	0
公立大学	20	20	20	0	0
私立大学	121	127	132	5	0
高等専門学校	1	1	1	0	0
専門図書館	59	62	63	2	1
学校図書館	60	63	65	2	0
アーカイブズ※	10	10	10	1	1
国立国会図書館※	13	13	13	0	0
合計	805	828	855	31	4

※ 「アーカイブズ」は、平成27年7月に館種区分「その他」から変更。

※ 国立国会図書館には支部図書館を含む。

<令和2年度新規参加館>

(参加承認順。*が付いている館は、組織再編や参加単位の変更による新規参加。)

公共図書館

韮崎市立大村記念図書館、真庭市立図書館*、花巻市立石鳥谷図書館、郡山市中央図書館、
 気仙沼市気仙沼図書館、安曇野市中央図書館、足立区立中央図書館、西脇市図書館、高砂
 市立図書館、藤岡市立図書館、武蔵野市立中央図書館、江東区立豊洲図書館、高浜市立図
 書館、富士宮市立中央図書館、平泉町立図書館、白馬村図書館、大磯町立図書館、泉大津
 市立図書館、知立市図書館、太田市立図書館*

大学図書館

大阪音楽大学附属図書館、崇城大学図書館、立正大学図書館（品川図書館）、大阪商業大
 学図書館、大阪学院大学図書館、国立大学法人筑波大学附属図書館

専門図書館

一般財団法人機械振興協会経済研究所 BIC ライブラリ、公益財団法人 東京都歴史文化
 財団 東京都写真美術館 図書室

学校図書館

同志社女子中学校・高等学校 図書・情報センター、渋谷教育学園幕張中学校・高等学校
 図書館

アーカイブズ

尼崎市立歴史博物館 地域研究史料室 “あまがさきアーカイブズ” *

(2) データ登録件数（令和3年3月末現在）

令和2年度末のデータ登録件数は対前年度比で約106%と増加しているが、年度ごとの新規データ登録数は前年度よりも減少している。

a. 館種別・公開レベル別データ登録件数

	公共 図書館	大学 図書館	専門 図書館	学校 図書館	アーカ イブズ	国立国会 図書館	合 計
レファレンス事例	177,459	24,489	19,914	4,975	2,981	21,704	251,522
一般公開	91,574	12,262	6,128	2,371	748	20,818	133,901
参加館公開	10,938	2,834	484	161	268	29	14,714
自館参照	74,947	9,393	13,302	2,443	1,965	857	102,907
調べ方マニュアル	8,377	646	217	739	35	1,392	11,406
一般公開	2,038	449	144	496	6	1,265	4,398
参加館公開	5,923	38	5	5	2	3	5,976
自館のみ参照	416	159	68	238	27	124	1,032
特別コレクション	354	123	643	14	5	34	1,173
一般公開	252	52	551	13	0	17	885
参加館公開	69	7	0	0	4	2	82
自館のみ参照	33	64	92	1	1	15	206
参加館プロフィール	501	203	63	65	10	13	855
一般公開	501	203	63	65	10	13	855
参加館公開	0	0	0	0	0	0	0
自館のみ参照	0	0	0	0	0	0	0
合 計	186,691	25,461	20,837	5,793	3,031	23,143	264,956
一般公開	94,365	12,966	6,886	2,945	764	22,113	140,039
参加館公開	16,930	2,879	489	166	274	34	20,772
自館のみ参照	75,396	9,616	13,462	2,682	1,993	996	104,145

b. 年度ごとのデータ登録数

	レファレンス 事例	調べ方 マニュアル	特別 コレクション	参加館 プロフィール	合 計	総登録数
平成16年度	13,620	167	158	283	14,228	14,228

平成17年度	6,557	190	73	107	6,927	21,155
平成18年度	4,087	183	5	52	4,327	25,482
平成19年度	4,841	197	21	10	5,069	30,551
平成20年度	5,682	5,928	13	27	11,650	42,201
平成21年度	8,759	223	10	32	9,024	51,225
平成22年度	13,646	307	28	29	14,010	65,235
平成23年度	17,956	543	54	20	18,573	83,808
平成24年度	23,079	361	124	23	23,587	107,395
平成25年度	20,830	688	△84	34	21,468	128,863
平成26年度	15,937	331	14	39	16,321	145,184
平成27年度	19,133	1,184	43	41	20,401	165,585
平成28年度	21,845	△16	20	44	21,893	187,478
平成29年度	18,084	320	48	28	18,480	205,958
平成30年度	18,436	195	19	36	18,686	224,644
令和元年度	23,715	397	350	23	24,485	249,129
令和2年度	15,315	208	277	27	15,827	264,956

(3) データの被参照件数（令和3年3月末現在）

クローラによるアクセスを抑制する対応の関係で、平成30年度は件数が減少したが、令和元年度以降は順調に増加している。

	レファレンス 事例	調べ方 マニュアル	特別 コレクション	参加館 プロフィール	合 計
平成16年度	23,822	1,739	1,571	2,384	29,516
平成17年度	135,633	6,698	2,701	6,729	151,761
平成18年度	372,923	27,322	2,342	11,852	414,439
平成19年度	934,783	49,622	3,899	18,416	1,006,720
平成20年度	1,506,785	65,456	5,929	22,252	1,600,422
平成21年度	2,423,254	99,378	5,654	27,358	2,555,644
平成22年度	6,407,952	209,039	30,826	69,851	6,717,668
平成23年度	6,944,084	280,387	41,394	81,423	7,347,288
平成24年度	7,674,019	252,109	49,852	247,650	8,223,630
平成25年度	16,530,577	480,292	57,026	206,606	17,274,501
平成26年度	23,224,613	585,411	53,553	221,590	24,085,167
平成27年度	37,004,963	869,274	71,193	292,745	38,238,175
平成28年度	40,015,309	1,037,071	76,624	304,633	41,433,637
平成29年度	51,904,330	821,923	68,706	301,160	53,096,119
平成30年度	35,467,747	610,716	48,423	326,648	36,453,534
令和元年度	42,634,969	710,865	80,514	701,272	44,127,620

令和2年度	50,338,506	823,358	109,303	708,052	51,979,219
-------	------------	---------	---------	---------	------------

- ※ 被参照数は、各データの詳細表示画面の表示回数。
 ※ レファレンス事例データ、調べ方マニュアルデータ、特別コレクションデータ及び参加館プロフィールデータにつき、参加館用システム・一般公開用システム双方からの被参照件数を合計した。
 ※ 一般公開の開始に伴い、平成17年12月15日から一般用画面統計を採取。
 ※ システムへの負荷を避けるため、平成29年6月末以降、クローラによるアクセスを抑制する対応を行っている。

(4) YAU (Yearly Active User) 数の推移

YAU (Yearly Active User) とは、公開レベルを問わず、1年間で1件以上、レファレンス協同データベースにレファレンス事例、調べ方マニュアル又は特別コレクションを登録した参加館の総数である。過去6年間の推移を見ると、YAU数は順調に進展しているものの、参加館総数に占めるYAUの割合は30%台後半で推移している。

	YAU	参加館総数	YAU比率
平成27年度	250	697	35.9%
平成28年度	272	741	36.7%
平成29年度	287	769	37.3%
平成30年度	294	805	36.5%
令和元年度	300	828	36.2%
令和2年度	304	855	35.6%

(5) 令和2年度御礼状送付

令和2年度から御礼状対象館の選定基準を一部改正した。調べ方マニュアルの累積データ登録ポイントを新たに基準として追加し、「一般公開」「参加館公開」の年間データ登録ポイントが少ない館は御礼状の対象外とした。

令和2年度は73館に御礼状を送付した。御礼状対象館はレファ協ウェブサイト内「令和2年度 国立国会図書館長からの御礼状送付>対象館一覧¹」を参照のこと。

(6) 令和2年度企画協力員賞受賞館

御礼状送付の基準には当てはまらないが、様々な観点からレファ協に貢献している参加館へ企画協力員賞を授与している。企画協力員で議論を行い、令和2年度は下記の参加館を選定した。

- ・練馬区立練馬図書館

(選定理由) 活発にレファレンス事例を公開するとともに、関連研修会にも積極的に参加しており、今後の活躍が期待できる。

- ・水戸市立中央図書館

(選定理由) 郷土事例を中心に、継続してレファレンス事例を公開している。

- ・富里市立図書館

¹ https://crd.ndl.go.jp/library/thanks_R2.html#list

(選定理由) 職員数が少ない中で、郷土事例を中心に、活発にレファレンス事例を公開し、
また、調べ方マニュアル、特別コレクションも公開している。

- ・幸田町立図書館

(選定理由) 職員数が少ない中で、活発にレファレンス事例を公開している。

- ・東京国立博物館資料館

(選定理由) 少ない職員で多数のレファレンス事例の登録を進めており、今後の公開が期待される。